

●生技及國際醫療

近年來台灣政府積極推動生技醫藥產業，除 2007 年通過生技新藥產業發展條例，鎖定高風險醫療器材與新藥開發兩類，透過法令鬆綁，且在稅法及資金募集上提供較寬鬆待遇外，更於 2009 年將生技醫療產業列為六大新興產業之一，全力推動生技起飛鑽石行動方案。期能為台灣建構與國際接軌的醫藥法規環境，加速落實生技研發成果的商業化應用，帶動投資，厚植生技產業的競爭力。

台灣具有健全完善的生技醫藥相關法規，良好的智慧財產權保障，優秀研發人才與臨床試驗能量，並已全面實施 GMP 及 cGMP 確效之國際規範，台灣藥品已有外銷十大先進國及其他地區的實績，電動代步車、電子血壓計、血糖儀、自動注射器等產品在全球亦有高市占率，受到國際市場肯定。

此外，台灣的醫療服務品質高而費用合理，諾貝爾經濟學獎得主克魯曼 2009 年公開稱讚台灣健康保險制度為全球最佳。全亞洲首例心臟移植成功案例即發生在台灣；台灣肝臟移植手術的存活率領先全球。目前台灣共有 12 家醫療機構通過全球醫界公認可信度最高的 JCI (Joint Commission International) 國際醫院評鑑，且多數的醫院都致力於通過「醫院評鑑暨醫療品質策進會」的評鑑，為醫院優良的醫療品質提供保證。



●文化創意とデジタルコンテンツ

第三波の「情報の産業」の経済的な景気が続いた後、文化創意産業は「第四波」の経済の動力があると見なされ、文化創意産業の各資源を統合し、また、文化創意産業の発展を促進するために政府はすでに「文化創意産業の発展する方法」を立法院で通過させたし、「創意の台湾―文化創意産業の発展する方案」（テレビ、映画、流行音楽、デジタルコンテンツ、設計と工芸などの六大の旗艦産業を含まれている）を提出し、現在の文化創意産業の発展に当たっての困難的な環境と産業の需要に対して、台湾の発展の優位性と未来の潜在力を考え、各策略と措置を推進して、「中国語環境のある市場を攻め、台湾をアジアの文化創意産業の物流センター」の理想の実現に期待を掛けています。

一方、兩岸（台湾と中国）の双方は経済協力枠組協定（ECFA）が締結したことによって、台湾で製作された映画は、外国映画を毎年 50 部の制限をしている中国だったのだが、台湾の映画が制限を受けずに優先的に中国に放映されています。この外に、政府は業者に資金融通のサービスを提供するため、すでに台湾ドル 250 億元の「文化創意産業の特別優遇の貸付」を創立させましたし；行政院の国発基金も、すでに「文化創意産業の投資の実施方案の強化」を通過し、台湾ドル 100 億元を国内の文化創意産業に投資した；文建会は、文化創意産業投資と融資のサービスオフィスを設立し、財務や技術などの方面から、業者に必要な資金を取得させます。各措置の推進を通して、文化創意産業の発展において、必要となる相関する措置が完備されており、民間投資を勧め、これからは、文化創意産業の未来の繁栄ぶりは、かなり期待することができる筈だと思われれます。



●文化創意及數位內容

繼第三波「資訊產業」經濟後，文化創意產業被視為「第四波」經濟動力，為了整合文化創意產業各項資源及促進文化創意產業發展，政府已通過「文化創意產業發展法」，並提出「創意台灣—文化創意產業發展方案」(包括：電視、電影、流行音樂、數位內容、設計及工藝等六大旗艦產業)，針對當前文化創意產業發展困境及產業需求，思考台灣發展優勢及未來潛力，推動各項策略及措施，期達到「攻占華語市場，打造台灣成為亞太文化創意產業匯流中心」之願景。

另一方面，隨著兩岸簽訂經濟合作架構協議(ECFA)後，台灣製作的電影不受中國大陸對外國電影每年配額 50 部之限制，為台灣電影進軍中國大陸取得優勢。此外，政府為提供業者資金融通，已開辦新台幣 250 億元的「文化創意產業優惠貸款」；行政院國發基金也已通過「加強投資文化創意產業實施方案」，匡列新台幣 100 億元投資國內文化創意產業；文建會並成立文化創意產業投資及融資服務辦公室，從財務、技術等層面協助業者取得所需資金。透過各項措施的推動，將可健全文化創意產業發展所需之相關面向，鼓勵民間投資，未來產業榮景值得期待。



●グリーンエネルギーとインテリジェンス電気自動車

地球温暖化は、気候の変遷をもたらしており、省エネルギーで炭素を減らすことが全世界共通の重要な議題となっています。省エネルギーと炭素の減少を推進することと同時に、緑エネルギーと知恵の緑化建築の巨大なビジネスチャンスをも齎してきます。緑のエネルギーの産業発展を促進するため、行政院は 2009 年 4 月に「グリーンエネルギー産業レベルを高める方案」を通過し、「省エネルギーで炭素を減らす」の趨勢を把握し、太陽光電や、LED 照明、風力発電、生物燃料、水素エネルギーと燃料電池、エネルギー資源の通信、電気自動車輻などを選定し、グリーンエネルギー産業を発展させる重点項目として、環境造りから、鍵となるキーポイントに対する投資、鍵となる技術の突破、国内の需要が拡大させ、中継ぎ輸出の増進など五つの方向から産業発展に協力しました。生産高は 2008 年の 1603 億の台湾ドルから 2015 年の 1 兆 1580 億の台湾ドルまで高めることが出来ると推定されています。グリーンエネルギー産業の発展は台湾の産業に新しい生命力を吹き込まれることが出来る筈だと思われます。

台湾の充実たる ICT 産業の実力は、電気自動車の産業発展にかなりの競争優位性をもたらしています。電動バイクでは、すでに光陽、中華、益通などのメーカーが電動バイクを市場で生産しています。電気自動車では、納智捷、中華車、必翔及び華徳動能等のメーカーで生産され、電気自動車の開発を完成させました。政府は電気自動車産業の政策を推進するとともに科学技術の研究開発専門の案件を支持する政策のもとで、現在では、インテリジェンス電気自動車の先導運行を積極的に促し、十個案件の合計が 3000 台の電気自動車が路上で走る予定で、同時にその技術に関するエネルギーを集めて、産業の集落を促し、キーポイントとなるプレビュー技術と事業を革新的に発展させており、電気自動車を研究発展するプラットフォームを創立すること、とエネルギーを検証することで、国内電気自動車を発展させる優位性がある環境を作り出します。



●綠能及智慧電動車

全球暖化，造成氣候變遷，節能減碳成為全球共同的重要議題，而推動節能減碳的同時，也帶來綠能及智慧綠建築的龐大商機。為促進綠能產業發展，行政院在 2009 年 4 月通過「綠色能源產業旭升方案」，掌握「節能減碳」趨勢，選定：太陽光電、LED 照明、風力發電、生質燃料、氫能與燃料電池、能源資通訊、電動車輛等，作為綠能產業發展重點，從環境塑造、關鍵投資、技術突圍、內需擴大、出口轉進 5 大方向協助產業發展。預計帶動產值由 2008 年 1,603 億元提高至 2015 年 1 兆 1,580 億元，發展綠能產業成為台灣產業新的生命力。

台灣雄厚的 ICT 產業實力，相當有利於電動車產業的發展。在電動機車方面，已有光陽、中華、益通等廠牌電動機車進入市場，電動車方面亦有納智捷、中華汽車、必翔及華德動能等廠商，完成各式電動車開發。在政府電動車產業政策推動以及科技研發專案支持下，現正積極促成智慧電動車先導運行，預計將有十案計 3,000 輛電動車上路；同時亦將匯集技術能量，促成產業聚落，發展關鍵前瞻技術與創新事業；並完善電動車標準法規、建立電動車研發平台與驗證能量，營造國內電動車輛發展的優勢環境。

目前我國綠能產業的發展，以太陽光電和 LED 照明最具規模。太陽光電 2010 年產值 2,000 億元，較 2009 年成長 89%，其中太陽能電池產量達 3GW，居全球第 2。LED 照明光電產業我國 2010 年產值 1,626 億元，較 2009 年成長 74%，以上游晶粒封裝及中游 LED 背光模組為主，產量均為全球第 1。



●都市再開発と土地開発

都市の再建を推し進めるプロジェクトは、都市発展効果と競争力を高めることが出来るほかに、関係する産業に対しても、建築営造や、金融サービス、不動産売買など含めて、すべてに経済的な利益をもたらしてくれますし、驚異的な生産高を創出することが期待出来ます。それが所以に新興産業のイベントを導入するとともに都市の再発展を推し進めるために、政府は 1999 年から積極的に都市の更新政策を推進させますし、民間の都市再開発プロジェクトを取り扱う事業を奨励するほかに、積極的に城の門、鉄道と電車が発展する軸線に沿っている区域、水岸エリアと都市の古びた市街区域において、かつ政府の土地が多い地帯で、政府当局は積極的に企画と整理整頓をした後に、企業を誘致する広告を出して、政府と私企業は共同経営の概念をもとに企業を誘致をし、土地を開発します；政府は土地の権利と利益の配分により、関連性がある工事に対して、政府当局は、協力的に税賦の減免と優遇的な融資制度を提供します；民間の方は、アイデアや、資金と経営の専門人材を育てることに力を入れて、地域にある新しい人気スポットと新都市の玄関口のイメージを創出するように心血を注ぎます。現在では、企画された企業誘致の案件は台湾鉄道の高雄港駅、台北市南港の新幹線沿線、台南運河の星鑽地方など 14 箇所です。優先的に実施する模範地区が含まれています。

それ以外に国内の各産業の推進する政策に合わせて、企業は土地と園区に対するニーズが多くになって来ており、政府も積極的に関連する法令の規制緩和を図っていること、とともに交通施設などの建設を通じて、国内外の企業の国内の各種類の園区と土地開発のプロジェクトに参加する意欲を促しました。例えば新竹バイオメテック園区、中興新村高等研究園区、高速鉄道駅特定区などは、政府が適切な企画と関連措置をとるので、とても開発のチャンスと潜在力を持っています。



●都市更新及土地開發

近年來許多發展成熟的都市，存在諸多老舊、荒廢及缺乏公共開放空間與綠地之建築房舍，形成提昇都市生活品質及市容景觀的障礙。因此，推動都市更新即是目前先進國家積極推動辦理的工作項目，如東京的六本木之丘與巴爾的摩水岸再開發等。

有鑑於推動都市更新產業除可增加都市發展效益與競爭力外，其關聯產業包括：建築營造、金融服務、不動產買賣等，皆可受惠而誘發驚人產值，台灣政府自 1999 年起積極推動都市更新，除鼓勵民間辦理都市更新事業外，亦積極選定位於城市門戶、鐵路與捷運發展軸線、水岸地區及都市舊城區，且公地較多的地區，主動規劃整理後，以公私合夥概念招商開發：由政府協調公地權益分配、開闢關聯性工程、並提供稅賦減免及優惠融資；民間則投入創意、資金及開發經營專才，希望創造地區新熱點及營造新都市門戶意象。目前規劃招商的案件包括：台鐵高雄港站、台北市南港高鐵沿線、台南運河星鑽等 14 處優先示範地區。

此外，配合國內各項產業政策的推行，廠商對土地與園區之需求殷切。台灣政府也積極透過相關法令的鬆綁與交通設施的興建等，促進國內外廠商參與國內各種類型的園區與土地開發，如新竹生物醫學園區、中興新村高等研究園區、高鐵車站特定區等，在政府完善的規劃及配套措施推動下，極具開發商機與潛力。

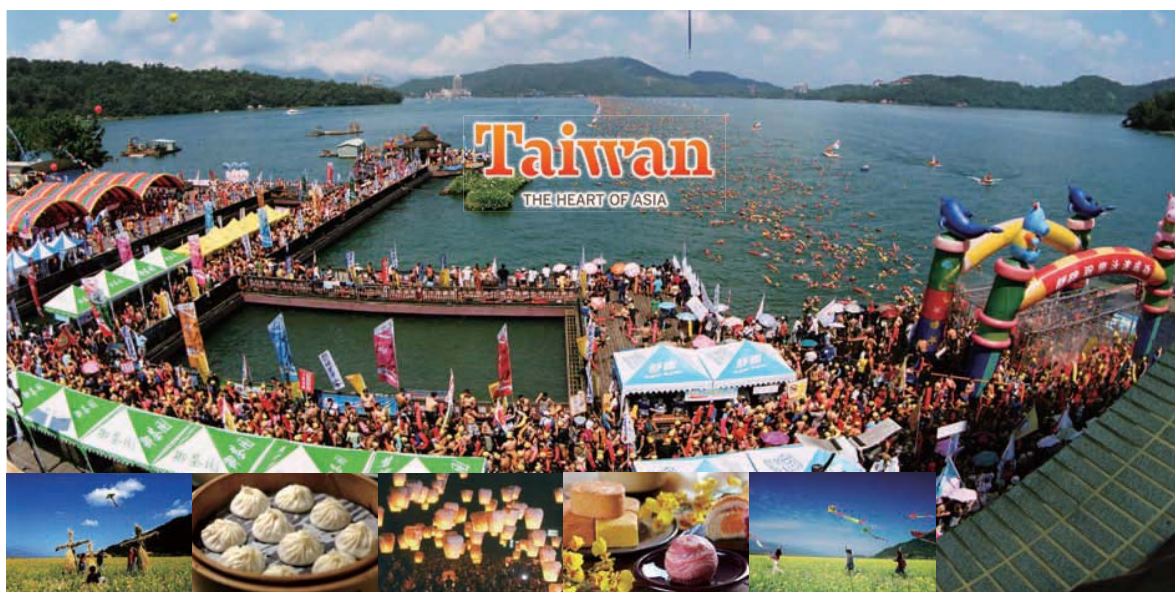


●観光と美食

観光旅行と美食は、台湾で国際観光客を引き寄せる焦点なのです。現在政府はすでに観光旅行産業が六大新興産業の一つで、「観光抜尖領航方案」を経て、目標として国内旅行の標準をあげ、国際観光を発展します。「抜尖」という地方は観光潜在力のある所と観光スポットで、隙間のない旅行サービスを提供し、観光のエリート達を育てて、観光産業のモデルチェンジを育成し、「基礎を作る」のプロジェクトを推進させます。それ以外に、国際市場の開拓も強化をし、台湾観光の知名度を高めます。今日に至るまでに台湾観光は質と量の方面にすばらしい実績が来ており、例えば、2010年に台湾に来た観光客は556万人を突破し、観光収入は台湾ドル5100億円で、台湾に来た観光客の満足度が90%の新記録を持っています。「投資を増やす」、「品質を上げる」の二つの大きな方向は、台湾観光の新しい形象「Taiwan, The heart of Asia」であり、台湾で「アジアの心」を作り出しました。

中華伝統の飲食メニューと異国料理の特徴が揃えられた台湾の美食は、すでに多元文化の飲食のスタイルに発展されて来ており、豊富な文化の内容、及び、精緻的に優良な飲食の品質は、国際間の知名度が徐々に高められて来たのです。政府は、すでに「美食の国際化」を十大重点サービス業の発展項目として掲げており、重点的に発展させるサービス産業と成り切っています。「現地の国際化」と「国際の現地化」などの発展戦略を通じて、業者たちは国内外への展示会への参加を勧めますとともに国際的な美食のブランド製品となるまでに発展させて、金メダルを獲得できるほどの有名なコックを育てます。

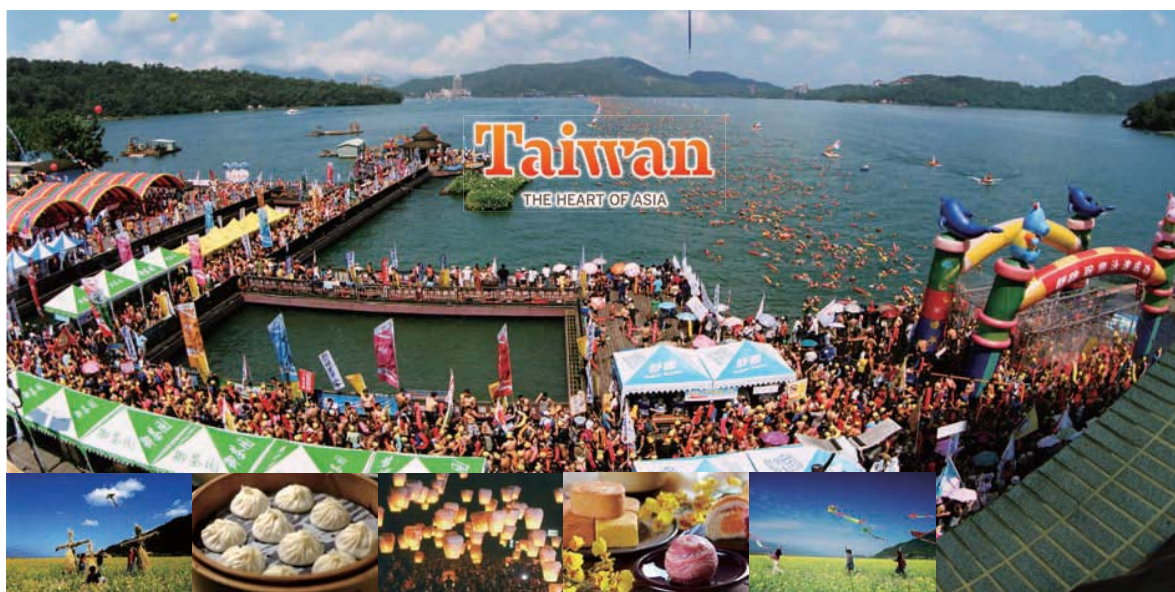
政府はビジネスチャンスの仲介人として、民間の投資などを促進するように協力し、将来には、観光旅行と台湾の美食と結び付けて、台湾を東アジア観光の交流する物流センターと国際的な美食の重要な観光地になってほしいと願っています。



●觀光旅遊及美食

觀光旅遊及美食向為台灣吸引國際觀光客的焦點。目前政府已將觀光旅遊產業列為六大新興產業之一，透過「觀光拔尖領航方案」，以發展國際觀光並提升國內旅遊品質為目標，「拔尖」地方具觀光潛力光點與景點，提供無縫隙旅遊服務，培養觀光菁英及扶植觀光產業轉型進行「築底」工程。此外，也加強國際市場開拓，提升台灣觀光能見度。推行至今，台灣觀光在質與量方面均有亮眼的表現，如：締造來台旅客2010年突破556萬人次、觀光收入達新台幣5,100億元、來台旅客滿意度超過90%等新紀錄。未來將以「增加投資」、「提高品質」兩大方向，以台灣觀光新形象「Taiwan, The heart of Asia」，將台灣打造成「亞洲之心」。

台灣美食彙集了中華傳統餐飲與異國料理的特色，已發展出多元化的餐飲樣式、豐富的文化內涵，以及精緻優良的餐飲品質，並在國際間逐漸打響名號。政府並已將「美食國際化」納入十大重點服務業發展項目，成為台灣重點發展的服務產業，透過「在地國際化」、「國際當地化」等發展策略，輔導業者進行國內外展店、發展國際美食品牌、培育金牌名廚、協助商機媒合及促進民間投資等，以期達到「世界美食匯集台灣」、「讓全球讚嘆的台灣美食」之願景。未來經由觀光旅遊與台灣美食的結合，可望使台灣成為東亞觀光交流轉運中心以及國際美食觀光的重要旅遊地。



●ハイテクノロジー（知恵型手持ち装置、クラウドコンピューティングと WiMAX を含む）

この前、わが国のハイテクノロジー産業は、情報のハードウェアの製造を集中させたが、情報のソフトウェア業者の規模は、比較的小さく、その上、ハードウェアとソフトウェアは互いに発展へと協力できませんでした。産業のモデルチェンジのとレベルアップを求め、政府は積極的に「愛台 12 建設」の「知恵台湾」を推進し、また、四大知恵型産業の「クラウドコンピューティング産業発展方案」などの ICT 関連計画は、民間の業者の力と結合することに期待し、情報のインフラと無線のブロードバンドの環境を打ち立てて、平板電腦と知恵型携帯、タッチコントロールのパネル、WiMAX とクラウドコンピューティングなどに向かって、未来の科学技術主軸に発展していきます。

現在の新興市場のブロードバンドのネットワークは、ニーズが日の立つにより急速に高まっており、全世界の知恵型携帯の出荷量が 2012 年に 3.5 億本があることと推定されています。しかも、クラウドコンピューティング産業はさらに、全世界が「ビジネスチャンスは想像がつかれないほど大きい」という新希望があり、将来には、ハイテク機器を発展する機会と将来性が現れています。わが国は ICT 関連産業にすでに確固たる基礎があつて、例えば台湾の知恵型携帯産業は完璧で、生産過程と製造プロセスは、グローバル的な視点で全世界の産業状況を把握していて、同時に台湾にすでに WiMAX 微型基地台の研究開発と製造があり、ICT 産業のエネルギーと結び付けてから更なる発展の見込みは、とても楽観的です。クラウドコンピューティング産業の連結部分があつて、台湾は、ずっとクラウドコンピューティングデータセンターの主な部品の製造基地として、クラウドコンピューティングの構造、大型システム管理ソフトウェア、資料センター作業システムなどの技術を把握し、もし再度深く研究と開発をしていくならば、将来的には質が高く、値段が安い資料センターシステムを発展できる筈だと思われます。

